



国際アダルトフィギュアスケート競技会 2025
Silver Women II Artistic Free Skating 2位



なかにし ひろこ
中西 紘子 さん



今回は、6月29日～7月4日にドイツで開催された、ISU（国際スケート連盟）公認「国際アダルトフィギュアスケート競技会2025」の「女子アーティスティック」部門で2位の成績を収められた、中西紘子さん（必佐）にお話を伺いました。

中西さんについて

大阪府出身の中西さんは、4歳からバレエを習い、中学2年生のときにフィギュアスケートを始められました。20歳代のときにはイギリスに留学してダンスを学ばれ、帰国後は鍼灸師の資格も取得されています。

平成28年から日野町にお住まいで、双子を育てるお母さんでもあります。ピラティスのインストラクターのお仕事をしながら、フィギュアスケートやコンテンポラリーダンスに取り組まれていて、これまでも国内外の大会で多数入賞されています。

今回の大会を終えて

「国際アダルトフィギュアスケート競技会」は、28歳以上のスケート愛好者や元競技者が参加す

る大会で、能力レベルと年齢で階級分けされています。「アーティスティック」部門では、ジャンプやスピンなどの要素の点数（TES）はつけずに、曲の表現やスケート技術などのPCS（プログラムコンポーネンツ）だけで競われます。

中西さんは「日本ではフィギュアスケートをしている大人の方があまりいないので、国際大会に出場すると海外の選手の皆さんから刺激を受け、『まだまだやれることがある』と感じます。来年に向けてまたがんばりたいです」と話されました。

自分が納得できる演技をめざして

中西さんにフィギュアスケート競技への思いを伺うと、「スポーツというより芸術的な部分に魅力を感じているので、順位より自分が納得できるかどうかを大切にしています。大会では点数がつき、結果としてメダルやトロフィーをいただくこともうれしいけれど、自分のやりたいことを表現でき評価されたときが一番うれしいです」と話されました。

長寿福祉課からのお知らせ

おもいでカフェ

「茶のみ処わたむき」

コーヒーやお茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で、認知症について「知る」「話をする」「聞いてもらう」ことのできるカフェスタイルの交流場所です。

【とき】10月18日（土） 10時～11時30分

【ところ】つごえ（日野町松尾1507-1）

【とき】10月24日（金） 10時～11時30分

【ところ】日野町立図書館

両日とも参加費100円、事前申し込み不要です。

体力測定会

簡単な体力測定で今の身体の状態をチェックしてみませんか。

【とき】10月29日（水） 9時30分～11時30分

【ところ】保健センター



◆問い合わせ先

長寿福祉課 地域包括支援担当

☎0748-52-6001



町ホームページ

町ホームページ内でも町的话题を紹介していますのでぜひご覧ください。



まちのわだい

五穀豊穡を祈願する「火振り祭」

8月14日（木）、15日（金）に上野田と里口で「火振り祭」が行われました。

当日の昼間に「ほいのこ」と呼ばれる子どもたちが、集落内を回ります。締太鼓の音が祭の開催を知らせると、夜に向けてだんだんと熱気が高まります。

夕方になると五社神社の拝殿で盃の儀が行われます。その後、人々は3mほどの松明にかがり火から火をともし、日野祭の神子3人を中心に行列をつくって雲雀野へと向かいます。子どもたち（ほいのこ）は、松明が燃えすぎないように「バンバラ竹」と呼ばれる竹で力いっぱい叩きます。

雲雀野では、かけ声とともに松の木をめがけて松明が投げ上げられます。松明が松の木の上にたくさん掛かるとその年は豊作とされています。



日野中学校男子バスケットボール部 全国大会出場への激励会

8月20日（水）、鹿児島県で行われた「第55回全国中学校バスケットボール大会」出場の激励会が日野中学校体育館で行われました。春の県大会・夏の県大会では、2大会連続優勝し、8月上旬に開催された近畿大会では、準優勝に輝き、2年連続で全国大会への出場が決まりました。

小西キャプテンは「今までの実力を発揮して勝つていきたい」と話されました。稲垣顧問は「たくさん応援してくれる方々がいるからバスケットができるので、感謝が伝わるような日野中学校らしいプレーをしてほしい」と話されました。

大会では、各ブロックを勝ち進んだ日野中学校を含めた24チームが出場しました。熱戦の結果、ベスト16の成績を収められました。

現在開催中の国スポバスケットボール（少年男子）では、滋賀県代表として3年生の角田康晴さんが出場されます。

全国ベスト16！



米づくりオーナー事業に「いなな満喫稲刈り体験」

8月30日（土）、蓮花寺地先の田んぼで「いなな満喫稲刈り体験」が開催され、県内をはじめ近隣府県からの参加者49名が稲刈り作業を体験されました。

この事業は、桜谷地域農村RMO推進協議会が立ち上げられた「令和7年度産米づくりオーナー事業」の取り組みで、期間利用契約に申し込まれたオーナーや、ご家族が参加されたものです。5月10日に実施された田植え体験で手植えされた稲が無事に収穫時期を迎え、今回の稲刈り体験が実施されました。

耕作者によって生育管理されてきた水稻の様子は、逐次SNSに掲載されており、苗の成長を見守ってきたオーナーにとっては、待ちに待った収穫となりました。オーナー同士の交流では、新米のおにぎりや鯛そめんを食され、日野町の環境や食文化を満喫されていました。

今後は、契約されたお米（2口で60kgの玄米）の受け渡しや収穫祭を予定されています。また、事業が好評だったことから、「令和8年度産米づくりオーナー事業」も規模を拡大して実施する計画をされています。

待ち望んだ収穫



桜谷地域農村RMO推進協議会Instagram